

We Find the Way



日本通運グループ | 企業メッセージ解説ブック

# *We Find the Way*

運ぶこと。それは、新しい未来をつくろうとするお客様の思いを実現すること。だから、どんなときでも、ただ一つの最善の方法を見つけ出し、必ずやり遂げる。このような、私たちの強い意志と自信を、この企業メッセージに込めています。

## *We*

従業員一人ひとりの力が物流の現場を動かしていること。そして、志を同じくする一人ひとりの力を結集させたチームだから最適な物流サービスを提供できること。これら2つの意味を表すために、一人称・複数形である「We」を用いました。

## *Find*

たとえ今あるやり方に当てはまらなくても、実現するための方法を模索し探し出す、という姿勢を表しています。この姿勢が、これまでもこれからも、変わらない普遍的なものであることを表すために、現在形の「Find」を用いました。

## *the Way*

あらゆる可能性の中から導き出した、ただ一つの最善の方法を提供する。このことを表すために、「a Way」でも「the Ways」でもなく、「the Way」としました。また、人と人、ビジネスとビジネスの間に道を築き、つないでいく物流企業である、というメッセージも込めています。

モノを運ぶとき、それがどんなに困難でも、  
私たちは「できる・できない」の話をしない。  
「どうやったらできるのか」だけを考える。

もし私たちが諦めてしまったら、  
そのモノに込められた人の思いは実現しなくなる。  
新しい可能性がしぼんでしまう。

だから、私たちは準備に準備を重ね、  
ただ一つの最善の方法を見つけ出す。  
さらに実行へ向けて、完璧な準備へと上げていく。  
この徹底したこだわりがあるから、  
前例のない仕事や困難をきわめる仕事にも、  
自信をもって立ち向かえる。

私たちに哲学があるとしたら、現場の試行錯誤こそがそれだ。  
つねに最善を追求する人の力が、現場を支えている。

私たちはこれからも創意工夫を繰り返し、新しい道を切り拓き続ける。  
物流が社会を豊かにしていく原動力であることを信じて。

**We Find the Way**



### 「どうやったらできるのか」だけを考える。

モノに込められたお客様の思いを実現することが私たちの仕事です。今までのやり方に当てはまるかどうかで、「できる・できない」を判断するのではなく、どうやったらできるかを考え、ときには新しい輸送方法や機材まで、自分たちでつくりあげていく。私たちにはその様な“実現発想”と呼ぶべき考え方が根付いています。

### 新しい可能性がしぼんでしまう。

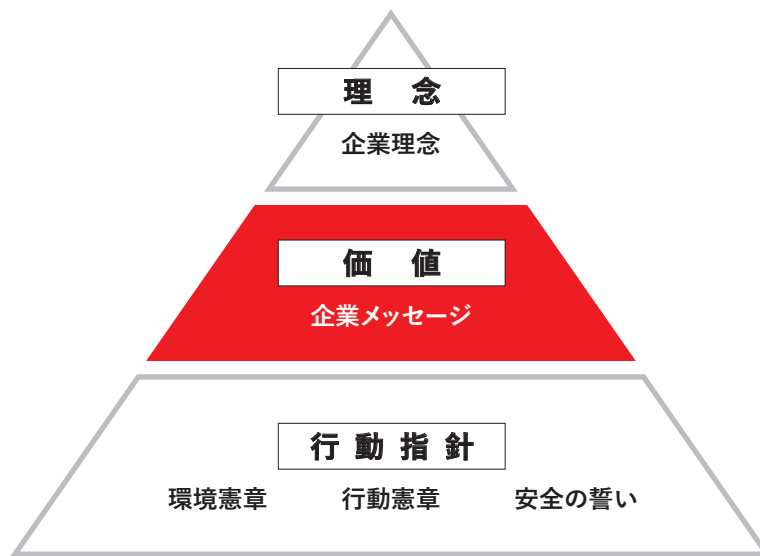
より良い暮らしの実現とそのモノによってもたらされる人々の幸せを願い、日々、モノづくりを続けるお客様がいる限り、私たちは運び続けます。なぜなら、モノは、必要とされている場所に届くことで初めて本来の、ときにはそれ以上の価値を生み出すと信じているからです。もしも私たちが運ぶことを諦めてしまったら、お客様のモノづくりへの情熱も、新たな未来の可能性も、失われてしまうかもしれません。だからこそ、私たちは、「絶対にあきらめない」姿勢で、お客様と向き合っていきたい、そう考えています。

### 実行へ向けて、完璧な準備へと仕上げていく。

私たちは、お客様との約束を確実にやり遂げるために、徹底して準備を行っています。“ダンドリ八分”とも言われるこの準備へのこだわりは、日々の無数の現場経験で培われ、先輩から後輩へ脈々と受け継がれて、日本通運の品質を支えてきました。だから、初めての仕事にも、どんな困難な仕事にも、自信を持って立ち向かっていけるのです。

### 私たちに哲学があるとしたら、現場の試行錯誤こそがそれだ。

私たちは、国内、海外を問わず、それぞれの場所で、それぞれのお客様のご要望にお応えするために、一人ひとりが現場での試行錯誤や創意工夫を繰り返してきました。そしてそれは、長年の積み重ねによって、私たちの哲学と呼べるほどに浸透しています。カリスマ創業者もいなければ、その絶対的な言葉もない。どんなときでも、私たちが指針としてきたのは、目の前にいるお客様の思いなのです。



企業メッセージは、企業理念をより具体的な行動に移すために、日本通運グループが世の中にどんな価値を提供するのか？それは他社と何が違うのか？をよりわかりやすく表現したものです。私たち一人ひとりの行動が、お客様に提供すべき日本通運グループの価値に沿っているか、振り返る拠り所となります。

※この新たな企業メッセージは、国内外グループの従業員と経営者はもちろん、常日頃より当社グループ企業とお取引をいただいているお客様や関係者の皆さまなど、たくさんの方々のご協力をもとに作成いたしました。